

「地域密着型金融推進計画」

津山信用金庫

当金庫は、「地域のみなさまとともに、地域社会の発展に奉仕する」という理念を基に、協同組織の金融機関として経済的、歴史的、文化的にも地域との深いかわりの中で発展してまいりました。近年、当金庫を取り巻く地域環境は、地元経済の停滞や少子高齢化の進展等もあって厳しい状況にあります。地域との共存関係にある我々としては、変化する地域環境を的確に把握し、その活性化に向けて主体的な行動を起こす必要があると考えております。

このような観点から「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を作成し、平成15年4月から平成17年3月の間、集中改善期間として推進してまいりました。その結果、「取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化」などに一定の成果があったと認識しておりますが、期間不足等もあって十分に満足したものではありませんでした。このため、新たに「地域密着型金融推進計画」を作成し、平成17~18年度に推進していくこととしました。

その計画概要は次のとおりであります。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

当金庫は、地域密着型金融機関として地域における中小零細企業や住民の皆様ライフステージに応じて、資金供給、各種の相談機能並びにビジネス・マッチング機能等あらゆる金融のニーズに対応していかなければなりません。また、創業・新事業の支援や取引先企業の相談業務を強化すること等を通じて、地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化を図っていくことが、当地に事業基盤を置き、地域社会との共生を基本理念とする当金庫の社会的な使命であると考えます。このため、次のことに取組んでいくこととします。

創業・新事業支援機能等の強化

国民生活金融公庫など政府系金融機関や中小企業支援センターとの連携により、創業・新事業企業等についての情報交換会等を定期的を実施するとともに、連携先の保有している機能や情報を活用するなど創業・新事業支援機能を強化・充実していきます。

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

平成17年9月に岡山県8信用金庫等が取引先を対象とした「しんきん合同ビジネス交流会」(ビジネスマッチング商談会)を開催することとしており、広範なマッチング情報を提供します。今後もこのようなビジネスマッチング商談会の定期開催に努めていきます。

また、平成17年4月から発足した若手経営者の勉強会「つしん経営塾」(会員数69名)を2年間のカリキュラムで実施しておりますが、今後も継続し開催するとともに同塾の卒業生の方についても組織化を図り、勉強会

や情報交流の場を提供していきます。

要注意債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化

経営改善の必要な先に対し当該債務者ととともに経営改善計画書を作成し、これに沿って要注意債権等の健全化を図っております。平成17年4月現在、7先について、改善計画に沿って実施しているところではありますが、今後さらに改善対象先を増やしていきます。このため担当部署である企業支援課の体制を強化するとともに、営業店担当者の研修やサポート態勢を充実させていきます。これにより2年後に相当数のランクアップ（要注意先債権等の健全債権化）を目指していきます。

担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

担保・保証に過度に依存しない融資推進のため、融資審査能力の向上を図るべく研修を継続して実施するほか、ローンレビューを実践し、融資先の適切な管理を行っていきます。

顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

与信取引に関する顧客への説明態勢については、平成16年4月に「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規程」を制定し、融資実行時に説明を行っていますが、より一層の実効性を確保するため、具体的な「取扱いマニュアル」を作成し、担当者の研修等を通じて説明態勢の強化を図っていきます。

相談苦情については、案件の一元的管理を行うとともに、苦情相談窓口担当者の研修等を行っていきます。

人材の育成

地域密着型金融を効率的かつ効果的に推進していくためには、当地域の特性に加え、企業の将来性や技術力を的確に評価できる「目利き」能力や経営支援能力等が欠かせないと考えております。このため、全信協などによる外部研修に積極的に参加するとともに内部における研修や資格取得の奨励など人材の育成に努めていきます。

2. 経営力の強化

当金庫は、役職員一人ひとりが高いコンプライアンス意識を持つとともに、収益性を向上させ、健全性を維持することにより、地域の信頼性を確保し、地域の金融システムを安定的に維持していくことが責務であります。また、地域の人々に多様な運用機会を提供することも当金庫の社会的な使命であると考えます。このため次のことに取組んでいくこととします。

リスク管理態勢の充実

適切な自己査定及び償却・引当の確保

信用格付制度の有効利用などによる信用リスク管理の高度化や自己査定のための研修会を実施するとともに、不動産担保評価システムの全先移行を早期に完了させる等担保評価方法を合理的かつ精緻化することなどにより厳格な償却・引当を実施していきます。加えて不良債権の積極的なオフバ

ランス化等により、平成 18 年度末の不良債権比率を 6 % 台までに減少させることを目標とします。

市場リスク管理態勢の強化

貸出金が低迷する中で、有価証券運用のウエイトは年々高まっており、この運用に係るリスク管理の厳正化と効率化が不可欠であります。このため役員会等による意思決定や管理プロセスの確立、市場リスク管理ツールの充実、運用担当者の育成・拡充、など運用管理態勢の強化と運用管理基準の整備を実施していきます。

収益管理態勢の整備と収益力の向上

業容拡大による収益確保が困難な状況下において、リスクに見合った貸出金利の設定や各種手数料収入の増大が不可欠であります。このため企業格付システムの活用による適正な貸出金利の設定を図っていきます。また、保険窓販の拡大等による取扱い保険商品の拡充、投資信託の販売開始、コストに見合った手数料の設定、付加価値の高いサービスの提供などにより非金利収入の向上にも努めていきます。

これらの施策により収益力の向上を図り、もって 2 年後の自己資本比率の目標を 13% 超とします。

ガバナンスの強化

新たに総代との意見交換会を開催することにより、当庫の経営状況を説明するほか総代・会員の意見を聴取し、これを経営に反映させていきます。また、半期開示内容の充実などディスクロージャーの一層の拡充に努めていきます。

法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化

営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等

専門部署である「コンプライアンス統括室」を設置し、体制の強化と責任の明確化を図っていきます。また、コンプライアンス研修の活性化や臨店指導内容の充実等によりコンプライアンス意識の一層の醸成に努めていきます。

適切な顧客情報の管理・取扱いの確保

社員証及びパソコンのログオン認証媒体として IC カードを全職員に貸与し、許可された職員のみが機械室等の顧客情報の保管場所に入室可能とします。また FD 等の媒体による顧客情報の保存を禁止します。加えて研修の強化や事務管理課の臨店指導などの施策を実施することにより顧客情報の厳正な管理に努めていきます。

3. 地域の利用者の利便性向上

当金庫は、地域密着型金融機関として利用者の満足度が高く、地域経済にも貢献できる金融システムを構築していかなければなりません。このため、経営内容の情報等を地域の利用者に分かりやすく、積極的かつ的確に提供することにより、地域の信頼を確保していきます。また、われわれがサービス業であるという原点に立ち返って地域の利用者の満足度を調査し、その結果を経営に反映す

ることにより、より利便性の高い金融機関となる必要があります。このため次のことに取り組んでいくこととします。

地域貢献等に関する情報開示

地域の利用者に対する情報提供をより一層充実させるため、ディスクロージャー誌やホームページ等を利用し、当庫の資金循環状況など地域貢献の内容をより分りやすく、かつ積極的に開示していきます。また、的確な情報開示のための検証態勢を強化していきます。

地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

地域の利用者に対する満足度アンケート調査を実施し、その結果を経営方針に反映することにより、利用者の利便性の向上と多様で質の高いサービスを提供していきます。